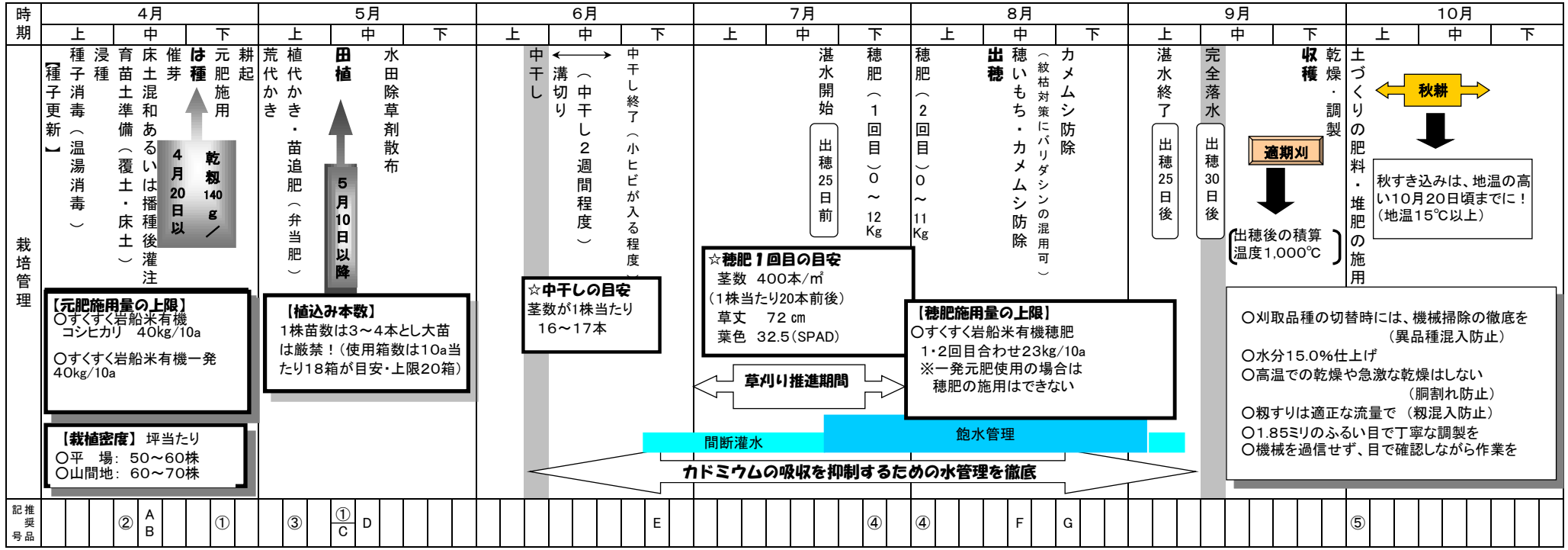
「岩船米コシヒカリ」栽培基準　（３割減農薬・減化学肥料栽培）

◎ 環境にやさしい減農薬・減化学肥料栽培で売れる岩船米を作ろう！
◎ 適期播種と5月10日頃以降の田植えの実施で出穂期を本来の8月10日以降に改善しよう！
◎ 前年度のこぼれ籾や、農機具の掃除不足による異品種混入に注意しよう！
◎ 元肥一発肥料は重ね撒きにならないように均一に散布しよう！
◎ 適正な元肥量を施用し過剰生育を防止しよう！（例年過剰生育になる場合は2～3割程度減肥する）
◎ 中干しは早め（田植え後4週間頃）に行い、過剰生育を防止しよう！
◎ 安全・安心「岩船米」生産のためにカドミウム吸収抑制対策（水管理）を徹底して行おう！
◎ 適期収穫により早刈りを防止し、ふるい目1.85ミリによる丁寧な調製で”全量1等”に仕上げよう！
◎ 土づくりを積極的に行い、気象変動に動じない米づくりを目指そう！
◎ 適正管理で食味のよい米で 単収 510kg を目指そう！



■推奨肥料と施用基準

記号	肥料名	成　分 N－P－K	施肥基準 (kg/10a)	備考
①	すくすく岩船米有機コシヒカリ	10－14－10 Mg1	40以内	どちらかひとつ
	すくすく岩船米有機一発	15－8－7	40以内	
②	稚苗苗代配合（＋育苗床土）	4－6－5　Mg1	600g以内	どちらかひとつ
	ホーネンス培土	0.046－0.046－0.046	60以内	
③	くみあい液肥2号（100倍液）	10－4－8	20L以内	
④	すくすく岩船米有機穂肥	12－4－6　Mg3	23以内	
⑤	すくすく岩船米ソイル元気	0－5－1.5　Mg2　Si20　Fe7 Mn2	60	最低1つは投入
	牛ふん堆肥		1t～1.5t	複数投入可能
	豚ぷん堆肥		200～600	
⑥	有機アグレット816号	8－1－6		生育不足の場合
	有機100%肥料 、時期・量については営農担当まで相談下さい。			

■推奨農薬と農薬取締法に基づく安全使用基準

記号	薬品名	安全使用基準 希釈倍数・散布量	使用時期	使用回数	備考
A	タチガレン粉剤または液剤	粉、6g・液1000倍液1L／箱	粉、播種前・液、播種時	1回以内	どちらか1剤
B	カスミン粒剤または液剤	粒、20g・液4～8倍液50ml／箱	粒、覆土前・液、覆土前	1回以内	どちらか1剤
C	フェルテラ箱粒剤	50g／箱	播種前～田植当日	1回以内	選択
D	ヤイバ1キロ粒剤	1kg／10a	移植同時～ヒエ3.0葉期、但し移植後30日まで	1回以内	選択
	ヤイバ ジャンボ	10袋（25g/1袋）／10a	移植3日後～ヒエ2.5葉期、但し移植後30日まで	1回以内	どちらか1剤
E	クリンチャー1キロ粒剤	1kg／10a	ヒエ4葉期田植後7日収穫30日前まで	1回以内	選択
	クリンチャーEW	100ml／10a	体系処理ヒエ6葉期田植後20日収穫30日前まで	1回以内	どちらか1剤
F	スタークル粒剤	3kg／10a	収穫7日前まで （使用適期、出穂後3～7日）	1回以内	どれか1剤
	ブラシンジョーカー粉剤DL	3～4kg／10a	収穫21日前まで	1回以内	
	ブラシンジョーカーフロアブル	8倍もしくは1,000倍	収穫21日前まで	1回以内	
	紋枯病防除はバリダシンで単独で行うか、上記薬剤との混用もしくは混合剤で同時防除してください				
G	スタークル粉剤または液剤	粉3kg/10a・8倍もしくは1,000倍	収穫7日前まで	1回以内	選択どちらか1剤

※ 1 上の表、栽培管理作業名下の記号は資材名となっておりますので留意願います。なお1つの記号に複数品目掲載の所は、どちらか1品目をえらんで下さい。
　2 上の表、備考に選択とあるものは、使用・不使用を選択下さい。